

■行政懇談会日程・参加者名簿

【令和5年度】

自治会		宮平ハイツ自治会	自治会からの要望
開催日		7/26(水)	
時間		19:00～21:00	
場所		ちむぐる館ホール	
三役	町長	○	
	副町長	○	
	教育長	○	
経済建設部	経済建設部長	○	【都市整備課】 ○町民体育館の建設について ○宮平ハイツ内西側道路（町道270号線）の補修について ○宮平ハイツ出入口の安全対策について（国道506号高速道路高架橋下南風原南IC向け道路） ○花・水・緑の大回廊公園の拡充について
	まちづくり振興課長		
	都市整備課長	○	
	区画下水道課長		
	産業振興課長		
総務部	総務部長	○	【総務課】 ○集会所の建て替えについて ○南風原町上空を飛行する航空機について ○南風原町ホームページについて
	総務課長	○	
	住民環境課長		
	企画財政課長	○	
	税務課長		
民生部	民生部長	○	
	こども課長		
	保健福祉課長		
	国保年金課長	○	
教育委員会	教育部長	○	
	教育総務課長	○	
	学校教育課長		
	生涯学習文化課長		
議会事務局長		○	
	会計課長		司会
	環境施設組合課長		
	介護保険広域連合課長	○	

行政懇談会 質問と回答 【全質問】

(宮平ハイツ)

R5.7.26 (水)

- 質問1 町民体育館の建設について P 1～
- 質問2 宮平ハイツ内西側道路の補修について P 8～
- 質問3 集会場の建て替えについて P 9～
- 質問4 宮平ハイツ出入口の安全対策について P 10～
- 質問5 南風原町上空を飛行する航空機について P 11～
- 質問6 南風原町ホームページについて P 11～

質問1 町民体育館の建設について

町民体育館ができることは、地域住民にとって福祉の向上であり、良いことと考えている。しかし、日本は少子高齢化、人口減少の今、作った後、将来世代への負の遺産となることを懸念している。

3月20日(金)に「住民説明会」が開催されたが、町民体育館についての事前のアナウンスもなく唐突感があり、計画策定への町民不在を感じる。
主にこの2点に関して問う。

質問1-1 次世代への負担について

(1) 町の人口動態推計について

将来の町の人口動態推計、生産年齢人口と老年人口の比率見積りは。

回答：(都市整備課)

南風原町の人口は令和2年(2020年)の国勢調査で40,440人となり、令和22年(2040年)までは年々増加し、43,000人になると推計しています。また、その比率は生産年齢人口は老年人口の約2.2倍になると推計しています。

質問 1 - 1 次世代への負担について

(2) 事業費について

- ① 概算事業費53億円、財源に社会資本整備総合交付金などの補助事業の活用、また、町長・町議会議長が国交省・自民党等に要請したが、町の持ち出しは。支出計画はどうか。
- ② 昨今の物価・人件費高騰、円安等により事業費が膨らむことが予想されるが、対応策は。

回答：（都市整備課・企画財政課）

①これまで黄金森公園事業は「社会資本整備総合交付金」と世代間負担の公平性の観点から、地方債（資金借入）を活用しています。町としては従来型公共事業の手法から、どれだけのコスト縮減を図れるかを検討するために、今年度、PFI導入可能性調査を実施します。また、同調査において、活用可能な補助金及び交付金等を明確にし、適用の可否について検討する予定となっています。

また、支出計画については、地方債を活用した場合は、約20年～25年の償還、PFIを導入した場合、15～20年を想定しています。

②事業者と対話しながら、リアルタイムの価格高騰等に適切に対応していきます。

質問 1 - 1 次世代への負担について

(3) PFI方式について

整備・運営等にPFI方式による民間活力を導入とあるが、他自治体での失敗事例等の研究及び対策は。

回答：（都市整備課）

今年度実施しますPFI導入可能性調査において、他事例の調査やガイドライン等を参考に、設計、建設、維持及び運営において想定されるリスクを抽出し、官民のリスク分担の検討を行います。その後、事業を実施していく中で、毎年モニタリングを行い、町はサービスの質の低下等を事前に防ぎ、民間事業者に融資する金融機関は適正に事業が遂行されているかを監視します。それにより、失敗事例のようにならないよう事業を行います。

質問 1 - 1 次世代への負担について

(4) P F I 事業者の公募・入札等選定方法について

公募・入札について、町が実施する方式についての概説と他方法に比較した場合の優位性等は。

回答：(都市整備課)

P F I 事業者の公募・入札等選定方法については、次年度予定していますアドバイザー業務にて、町が事業を実施する最適な方法の検討を行います。

質問 1 - 1 次世代への負担について

(5) 建設後の施設の所有について

施設の所有権は、町か委託された事業者か。メリット・デメリットは。

回答：(都市整備課)

今年度実施します P F I 導入可能性調査において、所有権をどちらが保有した方が最適なのか検討を行います。また、所有権をどちらが保有するのか、契約形態をどのようにするかなど、条件によりメリット・デメリットは異なります。

質問 1 - 1 次世代への負担について

(6) 黄金森公園内他施設の運営について

黄金森公園内の陸上競技場及び野球場について、将来的に P F I 方式で運営していく計画はあるか。

回答：(都市整備課・教育総務課)

今後、調査研究していきます。

質問 1 - 1 次世代への負担について

(7) 大規模修繕等について

建設後15年経過以降に大規模修繕等が見込まれると考えるが、町の他施設の修繕費用を合わせて、最初の質問の人口動態予測に基づいた、予算見積りは。

回答：(企画財政課)

町が所有する公共施設の大規模修繕等の予算確保については、公共施設等総合管理計画において、施設の計画的な点検・診断等の徹底により、施設の長寿命化を図ることで、更新費用を抑える計画となっています。そのため、町民体育館も同様に、施設の長寿命化を図ることで、後年度に発生する更新費用を抑えることとなります。

人口動態予測では、今後も人口が増加すると見込んでいますので、施設を有効活用すると同時に、計画的な点検・維持管理による長寿命化により、後年度の大規模修繕等に備えた予算確保に努めていきたいと考えています。

質問 1 - 1 次世代への負担について

(8) 収支計画について

- ① 基本計画の収支検討にある近隣市（A市）の人口・予算規模等は南風原町と比較してどの程度か。
- ② 利用料金収入を2,310万円と見込んでいるが、算出根拠となる利用料金や稼働率の見積りは。
- ③ 支出を7,450万円と見込んでいるが、昨今の電気代・人件費等の高騰に対応できるのか。

回答：(都市整備課・企画財政課)

①収支計画の参考としたA市は人口約6万5千人（本町約4万人/163%）、予算約333億円（本町約158億円/210%）となります。

②体育館利用の具体的検討は今後検討していくため、近隣市を参考に収支計画を行いました。

③今後、昨今の状況を踏まえて検討してまいります。

質問1-2 計画策定における町民不在

(1) アンケート（令和4年9月実施）及びヒアリングについて

- ① アンケートについて、結果の公表がなかった。広報はえばるにも掲載されていない。基本計画以外で公表する予定は。何のためのアンケートだったのか。
- ② アンケートで「問8 黄金森公園にプラスして何があったらいいと思いますか。」という問いに対し、体育館という回答は上位に入っていない。町民の総意として体育館建設を望んでいると言えるのか。
- ③ スポーツ関係者等に対してヒアリングを行っているが、これも積極的に公表されておらず、一般住民が置き去りにされていると感じる。広報等の方針は。
- ④ 整備方針に「町民がスポーツを観て夢を育む体育館」とあるが、トップレベルの大会を誘致できる規模の体育館を町民は望んでいるのか。
- ⑤ アンケート及びヒアリングの結果等から、どこでどういう議論がなされ、「基本方針及び導入機能」が策定されたか分からない。経緯を教えてください。

回答：（都市整備課）

- ①アンケート・ヒアリングは、基本計画を策定するにあたり実施しました。アンケートに関しては、住民がどのような機能や設備が求められているかを把握することを目的とし、ヒアリングは、導入機能やその規模等についてどのような要望があるか具体的に把握することを目的としています。
- ②問8に関しては、体育館を計画する黄金森公園に体育館以外で何をプラスしたらより良い公園になるかその他のニーズ把握を目的とした質問となっています。
- ③ヒアリングに関しては、より具体的に要望を把握するため、主に体育館を利用されている団体等へヒアリングを行っています。なお、アンケート及びヒアリングの結果について黄金森公園屋内運動施設基本計画の町ホームページへの掲載により広報しておりますが、事業の検討経過等についても周知に努めてまいります。
- ④アンケートやヒアリングの結果から望んでいると考えます。
- ⑤アンケートやヒアリングから、まず町民のための施設が望まれることがわかり、基本コンセプト及び4つの整備方針を掲げました。町民だけでなく、町民がトップレベルのスポーツを観ることで夢や希望を持ち、スポーツの推進を生む施設が望まれていると考え、トップレベルの大会が開催出来るような規模設定を事務局で整理し、策定委員会の中で検討し設定しました。

質問 1 - 2 計画策定における町民不在

(2) 議会との合意形成について

議会での議論、合意形成はどのようになされたのか。議会との議論・合意形成の経過が見えない。

回答：（都市整備課）

令和2年度から令和4年度まで、黄金森公園設計等策定委員会を開催し、検討を進めていくなかで、体育館整備の検討に必要な調査費用の予算は議会で認めていただいています。今年度行いますPFI導入可能性調査において、施設機能、規模、事業費及び手法等の整理を行い、説明を行いながら合意形成を図ってまいります。

質問 1 - 2 計画策定における町民不在

(3) 策定委員会について

令和3年3月から策定委員会を開催して検討していたようだが、メンバーに区長・自治会長（会長）が入っているにもかかわらず、区長会で話題になったことがない。よって、各自治会の住民は、策定委員会の検討事項どころか策定委員会の存在自体を知らなかった。策定委員会の意見に住民の意思が反映されたとは言えないのではないか。

回答：（都市整備課）

住民の意見を反映させるためアンケートやヒアリングを行いました。その結果を策定委員会へ資料提供しています。

質問 1 - 2 計画策定における町民不在

(4) 今後の町民との協働について

町民体育館である限り、主役は町民だと思うが、今後、町民体育館建設・運営に関して町民との協働の指針及び具体的な計画は。

回答：（都市整備課）

今後は、業務を実施しながら、ホームページ等で検討経過を公表し、町民の方から意見を頂ける機会をつくってまいります。

質問1－3 その他

(1) 省エネ・SDGsへの取り組みについて

省エネ・SDGsの取り組みは避けられないと考える。体育館建設にあたっての町の方針、具体的な取り組みは。

回答：(都市整備課)

省エネやSDGsも含め、今後具体的な取り組みを検討することとしています。

～質疑応答 10分程度～

質問 2-1 宮平ハイツ内西側道路の補修について

(1) 補修について

宮平ハイツ内西側の擁壁側道路（町道270号線）に亀裂が入り、年々ずれが大きくなっている。過去にコールターで補修してもらったが、擁壁側に崩れないか心配している。道路の補修はできないと自治会長に回答しているが、なぜか。また、対策について、宮平ハイツを造成した公社に相談できないのか。

回答：（都市整備課）

道路部のひび割れについては、対策を行い、経過観察します。当該道路は町道であることから、補修等の施工については、町の責任において行ってまいります。

質問 2-2 宮平ハイツ内西側道路の補修について

(2) 補償について

災害等で擁壁や道路が崩れた場合、町が補償すると自治会長に回答しているが、実際に災害が発生した場合、道路だけではなく近隣の住宅及び人的被害が発生する可能性もある。その場合も町に補償していただくとの認識でいいか。

回答：（都市整備課・総務課）

自治会長への回答については道路に亀裂等が入った場合、町や公社どちらが対応するのかという質問に対し、町道であるため町が対応しますと回答しており、災害等の補償についての回答ではございません。激甚災害等が発生した場合の被害については、国の支援制度等に基づき判断されると考えます。

～質疑応答 5分程度～

質問3 集会所の建て替えについて

宮平ハイツ集会所（2001年落成）は20年以上が経過し、今後建て替えが必要であると考えている。申請手続きについて確認したい。

回答：（総務課）

集会所建て替えの申請手続きについては、以下のとおりです。

- ・自治会のみなさんで話し合い。
- ・総事業費、資金計画、構想案、管理方法等を自治会でまとめる。
- ・南風原町との協議（全体スケジュール、費用負担、管理方法）
- ・事業メニューの確定（必要に応じて認可地縁団体の登録手続き）
- ・予算要求
- ・議会への提案→可決
- ・工事実施（基本設計、実施設計、建築工事）

また、補助メニューについては、町の定めた「南風原町内の自治会の公民館等整備事業基準要綱」があり、施設建設に係る自治会負担金の割合は、おおむね4割を目安としています。その他に自治総合センターの宝くじ社会貢献広報事業としてのコミュニティセンター助成事業があり、自治総合センターへ補助申請を行って採択された場合、施設建設に係る自治会への補助は、対象となる建築費用の5分の3以内（上限1,500万円）となっています。

～質疑応答 5分程度～

質問 4-1 宮平ハイツ出入口の安全対策について

(1) 定期的な伐採実施要請について

宮平ハイツ集会所から国道506号高速道路高架橋下の南風原南IC向けに出る道路について、高架橋下の草木が繁茂し、見通しが悪く危険である。整備については、国の責任であると自治会長へ回答している。

今後、繁茂した場合は町都市計画課へ相談するように指示されたが、国へ四半期に1回程度の定期的な伐採を要請することはできないか。

回答：(都市整備課)

管理者の南部国道事務所へ要請します。

質問 4-1 宮平ハイツ出入口の安全対策について

(2) 花・水・緑の大回廊公園の拡充について

高速道路高架下は、スケボーパークをはじめとした「花・水・緑の大回廊公園」整備が進んでいる。当該地を含んだ区域を公園として整備する計画はないか。

回答：(都市整備課)

令和8年度以降、整備順序にもとづき実施していきます。

～質疑応答 5分程度～

質問5 南風原町上空を飛行する航空機について

南風原町上空を自衛隊と思われるヘリコプターが低空で飛行している。日没後も確認されているが、騒音・振動が大きい。最低飛行高度は遵守していると思うが、もっと高高度を飛行して騒音低減を図るよう、防衛局等、関係機関に要請できないか。宮古島での陸自ヘリ墜落事故もあり、心配である。

回答：（総務課）

陸上自衛隊那覇駐屯地に確認しましたところ、本町上空を自衛隊機のヘリコプターが飛行する場合、航空法上1,000フィート（約300m）以下での飛行高度の制限があるとのことでした。通常は、上限いっぱいの高度で飛行しており、飛行高度をあげることが、法令上できないとのことでした。

また、日没後の飛行については、事故や人命救助等の緊急要請に基づくものもあるということでした。

～質疑応答 5分程度～

質問6 南風原町HPについて

南風原町ホームページの閲覧、PDF資料等のダウンロードに時間がかかる場合がある。改善できないか。

回答：（総務課）

本町のホームページについて、今年度リニューアル予定となっております。その際に、添付データで容量が大きいものについては圧縮するなどのルールを定め、対応してまいります。

～質疑応答 5分程度～